



センターニュースをお読みの皆様へ

島田療育センターでは、入所利用者様の骨・関節の状態を評価するため、毎年腰椎・股関節のレントゲン検査に加え骨密度を計測しています。骨密度とは骨の強さを示す指標のひとつで、正常の70%以下となると骨折リスクが極めて高いといわれています。重症心身障害児(者)では、麻痺による運動低下・臥床による抗重力荷重の不足・慢性栄養障害など様々な要因により骨密度は低下し、現在入所利用者様の大腿骨骨密度平均値は正常の40%以下という数値となっていますが、運動療法や薬物療法による改善は

困難です。このような状態では軽微な外力でも容易に骨折が生じ、年間20件程度の骨折のほとんどの例で、その受傷原因ははっきりしません。幸い骨折数の目立った増加はありませんが、手術を要する例もあり、体位変換や更衣などのケアとの関連を含め骨折防止に努めてまいります。



副院長
高山 真一郎



9月10日(土)に入所利用者様のみを対象とした“2022年わいわい祭り花火会”を開催しました。昼間は、病棟ごとのイベントの中で、サクスグループ LadyHonkerzさんの演奏の配信を楽しみました。ノリノリのリズムで、夜の花火会へ気持ちが高まりました。待ちに待った花火会では、昨年に引き続き院長先生のコンサートから始まり、風の鼓(かぜのつづみ)さんの太鼓演奏。そして吹き出し花火から打ち上げ花火へ、風の鼓さんと花火のコラボレーションで盛り上が

りました。今年度はわいわい祭りにご家族をお迎えることをテーマに、様々な検討をしましたが、当日の面会は無しとさせていただきましたが、お祭りまでの待ち時間に、利用者様たちの日々の笑顔をスライドショーで見させていただきました。会場のグラウンドでは、離れた場所からお互いを探す様子に、来年こそは一緒に花火を見たいね!と思いました。楽しい時間は、あっという間に過ぎてしまいましたが、利用者様だけでなく、ご家族にも楽しんでいただけたようで、ほっとしました。

また、初の試みで職員とデイケアセンターの利用者様向けに YouTube での生配信を行いました。来年は、地域の皆さんも一緒に楽しめる形を探していきたいです。
(療育部副部長 舟田 知代)



久保田院長による弾き語り



風の鼓様の和太鼓演奏



LadyHonkerzさんの演奏配信



LadyHonkerzの皆さん



ヤギさんも一時的に引っ越し



和太鼓と花火のコラボレーション



フィナーレのナイアガラ



YouTubeで
動画公開中!

8月12日 (金)

成人のお祝い を開催しました

2022年4月より18歳成人となりましたが、当センターでは、今年度は20歳になられる方々のお祝いをさせていただきました。また、対象の利用者様は2名いらっしゃいましたが、感染症対策の為、当日は第1病棟の方のみのお祝いをさせていただきました。

会場には第1病棟代表の利用者様3名がお祝いに来てくださいました。式の模様は各病棟にもライブ配信され、離れた所からではありますが、皆でお祝いをすることができました。

また、第1病棟とはライブ中継を繋ぐことができ、リ

アルタイムでお祝いをお伝えすることもできました。会場は広い空間の中に少人数しか入れず、少し寂しい感じもしましたが、配信を利用して、和やかな雰囲気の家になったと思います。

小さな頃から知っている職員もおり、スーツできりっと座る姿には喜びと共に感慨深く、胸をうちました。
(療育主任 栗見 佐紀子)

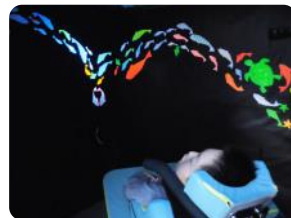


デイケアセンター

ナイトケア を行いました

デイケアセンター青年部でナイトケアが行なわれました。テーマは「海」で、真っ暗な部屋の中にライトを当てると色とりどりの魚が現れる深海水族館や潮干狩り等を楽しみました。利用者みなさんは光る魚の群れに目を奪われたり、貝やスーパーボールを一生懸命にすくいとったりと海を体験されていました。他にも今年は「キャンドル作り」に挑戦しました。ドライフラワーを飾り付け、好きな香りを選び、自分だけのオリジナルキャンドルを持ち帰りました。いつもは午後4時に帰りの時間を迎えますが、ナイトケア参加の方は他の利用者みなさんを見送り、いつもよりも遅く帰ります。急に不安になってしまう方もいましたが、何がはじ

まるのか目を輝かせている方もいました。帰りは日も暮れ真っ暗な中でバスに乗り、いつもと違う一日を過ごされました。
(デイケアセンター 佐竹 陽子)



居室飾りづくりのボランティア

7月上旬より、飾りづくりのボランティアさんに活躍していただいています。多摩市の社会福祉協議会からの紹介がボランティアさんとの最初のご縁でした。それから2か月ほどの間に8点もの装飾を届けていただきました。

今までに、デイケアセンターには向日葵シリーズ、第1病棟には沖縄シリーズ、ボランティア控室には美ら海水族館を飾りました。8月の成人のお祝いでは紅白のお花紙を会場にちりばめ、お祝いボードは会場のみならず病棟内でも大活躍でした。可愛いキャラクター達は療育部前でおしゃべりしています。お祭りとは花火の作品はわいわい祭り花火会で、院長先生のコン

サートのバックでキラキラと光っていました。一つ一つの作品に何度もリユースできる工夫が凝らされ、収納や取り外しの手間まで考えられた素晴らしい装飾に仕上がっています。今後もセンターの壁面を色とりどりの作品で飾っていきたいですね。
(療育部療育長 清水 信夫)



家族向け発達支援講座

吃音の話 を開催しました

7月26日(火)に、吃音についての講習会を開催しました。当日は会場を2つに分け、保護者向けの講習会と吃音のあるお子さん同士の交流会を行いました。

言語聴覚療法科では日頃、吃音のお子さんに対して漠然とした不安を抱え対応方法に苦慮されているご家族からのご相談をお受けすることが多く、吃音について正しく知ってもらう必要性を感じていました。当日は13名の保護者の方にご参加いただき、講習会後のアンケートでは「正しい知識を得ることができて安心した」「子どもとの向き合い方を見つめ直す機会になっ

た」などの感想をいただきました。同時開催で行った吃音のあるお子さん同士の交流会では、それぞれのペースで制作やゲームなどの活動を楽しんでいただきました。

当日はあいにくのお天気の中、講習会にご参加いただきました皆様には、この場をお借りして感謝申し上げます。今後も継続的に吃音についての啓蒙活動を行っていきたいと思います。

(言語聴覚士 嶋原 礼子)



家族向け発達支援講座

「かいてみようかな」につなげる工夫やポイント を開催しました

9月1日(木)に第3回目の家族向け発達支援講座を開催しました。今回のテーマは「どうしてかくのが苦手なの?『かいてみようかな』につなげる工夫やポイント」。かくために必要な手先の要素や、その要素を育てるために生活の中で取り組める活動を紹介し、習慣化するコツをお話ししました。また、講師自身の子育てや療育経験を交えながら、かくことに苦手さを抱えるお子様と塗り絵や線なぞりを行うことを例にし、やり方・関わり方の工夫をお伝えしました。

参加者からは、「資料とお話が本当に分かりやすかった。何度も読み返さずと活用したい。」「子どもへの接し方が参考になった。」「家に帰って色々チャレンジしたくなった。」等、心温まる感想をいただきました。

今後もお子様・ご家族のお悩みにお応えし、少しでも前向きな子育てを応援できるよう努めていきたいと思ひます。お忙しい中、足を運んでくださったご家族の皆様には感謝申し上げます。



(作業療法士 北川 伸尚)



お子様の発達について、こんなご心配はありませんか?

このコーナーはネットワークしまだで連載していた、親御さんからの発達についてのご質問やお悩みに対して専門職が対応方法をご説明するコーナーです。バックナンバーは島田療育センターのホームページでもご覧いただけます。

Q

縄跳びが全然とべません。
どのように練習すればいいですか?



A

年中・年長さんになると、多くの園で縄跳びに取り組むと聞きます。

そもそも縄跳びとは、ジャンプのリズムに合わせて両手で縄を回すという、手足で別々の動きをする複雑な運動です。その工程は、①縄を両手で持つ ②縄を回しその動きを目で追う ③タイミングよくジャンプし跳びこす の3つから成り、①~③を順序よく、タイミングよく行う力が必要です。ですので、まずは、縄を持ち続けられるか(握る力)、スムーズに回せるか(肩の柔軟性、力加減)、動きを追えるか(追視)、ジャンプが

安定してできるか(跳躍力)、姿勢が崩れないか(体幹の力)を確認し、難しい動きがあれば一つずつ練習してみましょう。例えば、ジャンプが難しければ長縄跳びで跳びこすだけの練習をする、回し方がぎこちなければジャンプはせずに縄を前後に回すだけの練習をするなどです。そして、徐々に組み合わせる動きを増やし、一連の運動へとつなげていけるとよいと思ひます。



お子さん自身が少しでも前向きに練習できるよう小さな目標を掲げ、一つひとつ成功体験を積み上げていけるとよいですね。

(作業療法士 北川 伸尚)



2022年度 第1回

医療安全講習会 を実施しました

2022年度 第1回医療安全講習会を7月4日からの1か月間、オンラインにて開催しました。医療安全管理委員の伊東療育長から「骨折事故対策～手足の末梢の骨折を振り返る～」というテーマで、島田での事例を交え写真付きで原因と改善点の話がありました。

第7波のピークと重なりオンラインでも受講率は下がってしまいましたが、動画は研修視聴サイトでいつでも繰り返し視聴できるようになっています。

(医療安全管理委員 中野 智子)



2021年度

事業活動計算書

勘定科目	本部拠点	多摩拠点	はちおうじ拠点	合計
サービス活動収益計(1)	21,501,767	4,135,524,211	575,346,812	4,732,372,790
サービス活動費用計(2)	27,807,694	4,061,656,311	539,688,020	4,629,152,025
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	-6,305,927	73,867,900	35,658,792	103,220,765
サービス活動外収益計(4)	46,304	10,636,131	1,350,721	12,033,156
サービス活動外費用計(5)	0	1,223,670	15	1,223,685
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	46,304	9,412,461	1,350,706	10,809,471
経常増減差額(7)=(3)+(6)	-6,259,623	83,280,361	37,009,498	114,030,236
特別収益計(8)	0	13,591,136	2,919,620	16,510,756
特別費用計(9)	0	5,914,438	513,350	6,427,788
特別増減差額(10)=(8)-(9)	0	7,676,698	2,406,270	10,082,968
次期繰越活動増減差額	132,685,100	57,621,481	220,476,152	410,782,733

おしらせ コーナー



第47回 日本重症心身障害学会学術集会

重症心身障害児者の原点に学ぶ
医療、福祉のこれから

会期 2022年12月1日・2日
大会長 木実谷哲史 (島田療育センター名誉院長)
会場 TFT ホール TFT ビル西館 2階

詳細・参加事前登録は以下の URL
または QR コードから

<https://www.procomu.jp/smid2022/>



地域療育等支援事業のご案内

①外来療育等支援事業(療育相談)

当センターにて障害、発達に関するご相談に応じます。

②施設支援一般指導事業

発達のご心配や障害のある方を受け入れている地域施設、機関職員の方を対象にご相談に応じます。

③訪問療育等支援事業(訪問相談)

地域施設や家庭へ赴いて、健康診査や介護指導などを行います。

窓口は支援部 TEL 042-374-2101(直通)



shot!

ひとこと

9月上旬、ほっとステーション A 室の前で稲穂が実っていました。無人脱穀機の周りに落ちていたもみ殻を育てて苗にして、ゴミ箱や段ボールを再利用した鉢と通常の腐葉土に田植えをしたそうです。この後は脱穀して島田米になるのか、今後が楽しみです!



発行者

社会福祉法人 日本心身障害児協会 島田療育センター
〒206-0036 東京都多摩市中沢1-31-1

TEL

042 (374) 2071 (代表)

URL

<https://www.shimada-ryoiku.or.jp/tama/>

スマホの方は
こちらから

島田療育センター



ほっとステーション



フェイスブック

